



Woodland
Academy

情報セキュリティ演習

演習問題



Shape Your Future

GitHub上へのソースコード流出 時間： 30 分 事案

事例：三井住友銀行システムのソースコード流出問題

2021年1月28日、三井住友銀行（SMBC）が使用しているシステムのソースコードが公開・流出した可能性がSNSで指摘されました。翌29日、SMBCは指摘されたコードが自社の行内システムの一部と一致することを確認しました。この問題は、NTTデータの子会社であるNTTデータ ジェトロニクスを含む複数の関連企業にも影響が及び、被害の公表が相次ぎました。

- 上記の事例について、発生した原因、起こりうるリスク、再発防止策を検討してください。

患者情報の紛失事案

時間： 30 分

事例：横浜市立みなと赤十字病院における患者情報の紛失問題

横浜市立みなと赤十字病院（以下「みなと赤十字病院」）の医師が、論文作成のために患者の個人情報を保存したUSBメモリを院外に持ち出し、その後紛失しました。このUSBメモリには患者の氏名、診療記録、その他個人を特定できる情報が含まれていたとされています。情報の持ち出し方法や管理体制に不備があった可能性が指摘されています。

- 上記の事例について、発生した原因、起こりうるリスク、再発防止策を検討してください。

フィッシング詐欺による機密情報 の窃取事案 時間： 30 分

事例：フィッシングメールによる不正アクセス被害

金融機関の社員が「システムメンテナンスのお知らせ」と題されたメールを受信。このメールはフィッシングメールであり、社員は文面を信じてメール内のリンクをクリックし、偽のログインページにパスワードを入力してしまいました。その結果、第三者にログイン情報が盗まれ、不正アクセスによって複数の顧客口座から資金が引き出される被害が発生しました。

- 上記の事例について、発生した原因、起こりうるリスク、再発防止策を検討してください。

